



☆題字：F組 Gさん

中学1年学年だより 第7号 2021年10月15日発行

2学期が始まり、1ヶ月が経ちました。だんだんと涼しくなり、いつの間にかすっかり秋らしい気候になりました。この1ヶ月の間に中学1年生は初めての学年として参加する行事、彩羽祭を経験しました。まず、彩羽祭について生徒の感想とともにご報告します。

## 彩羽祭が行われました

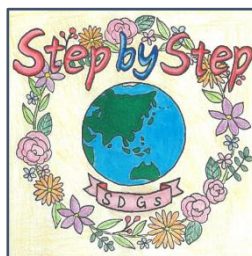
---

9月26日(日)・27日(月)に、洗足学園中高の文化祭である、彩羽祭が開催されました。本年度のテーマは「Utopia」です。コロナ禍や緊急事態宣言により、様々な変更や制限がある中での開催となりましたが、彩羽祭実行委員を中心に工夫を凝らしたとても素敵な文化祭となりました。何より日々の授業とはまた違った生徒たちの姿がそこにあり、様々な表情が見られたように思います。中学生も高校生も一緒に一つの空間を創りあげていました。展示部門・公演部門・飲食部門(コロナ禍により今年度は展示)に分かれて各団体が発表を行います。中1・中2は学年での企画、中3～高2は各クラスでの企画をそれぞれ行い、部活動のほか今年度は「公募団体」も参加して、それぞれの発表の場となりました。

中学1年生にとっては初めて発表する側の文化祭です。HR計画委員が中心となり、「国際理解 × SDGs × Utopia」をテーマとして発表を企画しました。総合学習での学びを、「動画」「討論劇」「クイズ」という形で発表しました。HR計画委員がいちからアイデアを出し、話し合いを重ねて徐々に形にしていきました。初めてづくしのことに加えて、緊急事態宣言や夏休み中の生徒登校禁止というイレギュラーな事態により、ひとつ解決してはまた困難があり、という連続でした。手探りをしながら、前に前に進んできた時間だったことかと思えます。

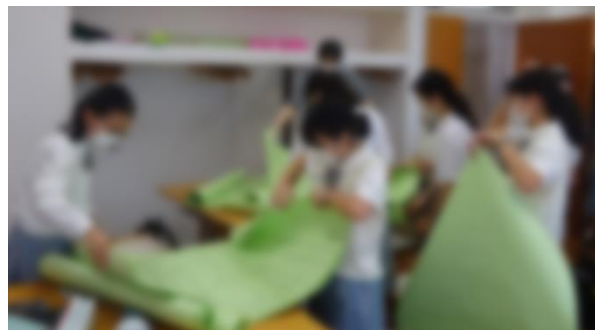
もちろん、学年企画はHR計画委員だけのものではありません。ヘルパーや企画チームとして関わってくれた人たち、放課後などに率先して手伝ってくれた人たち、ペットボトルのキャップやラベル、牛乳パックなどの資材を提供してくれた人たち(ご家族の皆様、ご協力ありがとうございました!)、それぞれの準備や当日の仕事に一生懸命取り組んだ人たち、自分が思っていたようにはできなかった人たちなど、様々な人たちがいたと思います。みんなで中1の発表を形にしました。それぞれこの行事を通して感じたことを大切に、今後の学校生活を過ごして行ってほしいと思います。

<2021 彩羽祭テーマ：Utopia> <中1 団体タイトル：Step by Step>

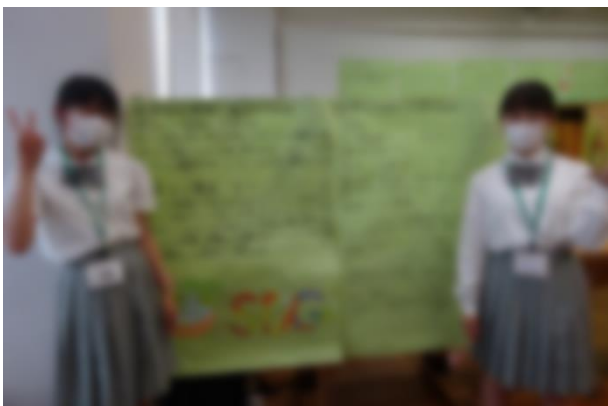


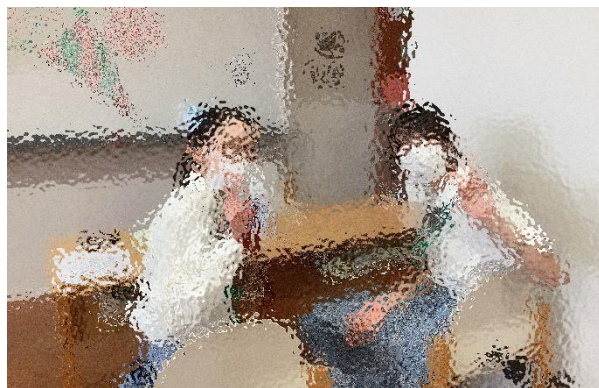
アイコンデザイン：中1E Tさん

<準備の様子>



<彩羽祭当日>





## 彩羽祭 生徒の感想

彩羽祭を終わっての中1生徒の感想をご紹介します。

私は彩羽祭の準備期間から当日にかけて大きく2つのことを感じました。1つ目は彩羽祭実行委員やHR計画委員の方たちへの感謝です。準備期間中分からないことがあっても優しく、丁寧に教えてくれて、私達が見ていないところでも沢山の会議に参加してより良い彩羽祭のために大切な時間を削ってまで頑張ってくれました。私は彩羽祭実行委員やHR計画委員の方たちのおかげで2日間の彩羽祭を最高に楽しめたことに感謝したいです。そして今年は先生方や彩羽祭実行委員・HR計画委員の方が

主体となって彩羽祭の準備が進めて下さって、自分はあまり活躍することができなかったのですが、来年は自分ができることを探して昨年よりも成長できたと思います。2つ目は2日間の素晴らしい彩羽祭は洗足学園の生徒1人1人の努力の結晶であるということです。私が洗足に小学生のときに見に来た洗足祭は校内が美しく鮮やかに装飾されていて先輩方一人ひとりがとても輝いていたことを今でも鮮明に覚えています。しかし鮮やかな装飾の裏には洗足生みんなの絶え間ない努力が詰め込まれているのだということを今年洗足生になって初めての彩羽祭で感じました。来年の彩羽祭では今年以上努力して彩羽祭の準備に積極的に関わっていきたいと思いました。

(A組 Sさん)

準備期間はなかなか計画通りに進まず、作業が難航するときも多々ありました。こうやればこうなる、と具体的に計画を立てても、実際にやってみると上手くいかないこともあるのだと学びました。当日が迫ってくると、当日までに本当に終わるのだろうかという焦る気持ちが生まれました。それでも1日前には終わってよかったです。

放課後の活動は、学年の仕事を優先するか部活を優先するかで大変迷いました。その時々々の活動内容に合わせてどちらに行くか決めていました。難しかったけれど、上手くやりくりできたのではないかと思います。私は彩羽祭の準備期間～当日までの期間で、臨機応変に行動することの大切さを学びました。やってみないと分からず、計画通り進まないこともあるし、急遽変更になることもあるし、用事が重なることもある。しかし、そのときどきで状況を判断し、それに合わせて臨機応変に行動することでやり遂げることができると学びました。いい経験になりました。

初めて知ったことは、何事も生徒主体で進めていくところです。先生が指示して進められていくのではなく、生徒主体で行うというのは新鮮で、とても驚きました。彩羽祭だけでなく、臨機応変に動くというのは普段でもできると思います。実行していきたいです。来年も頑張りたいです。

(B組 Sさん)

私は、今まで言われたことをやるが多かったのですが、HR計画委員になって、みんなに指示する人の苦労や、計画することの大変さを感じました。また、先生や先輩方が学校全体をまとめているのを見て、学年をまとめる自分でさえこんなに大変なのに、学校全体をまとめるなんて、本当にすごいと思い、尊敬しました。大勢の人の努力から成り立つものなんだと、心から思いました。

私は、この彩羽祭を通して、様々なことを学びました。例えば、「生徒にやろうと思っていることを伝える」ことです。一人ひとりに対面で説明することなら今までできていましたが、全体に説明するとなると、誰に言ってもわかるような説明をしなければならなくて、多く悩みました。また、もう一つ学んだのは、「協力すること」です。いつも、自分が与えられた仕事を自分一人でやっていたけれど、今回は、HR計画委員のみんなとやらなければならなくて、しかも、自分が何をすればいいかも、自分で考

えなければいけませんでした。なので、自分が何をすればいいのかまとめ、みんなにも仕事を分けて協力し、行動に移しました。それが、思った以上に頭を使い、大変でした。また、これからは、もう少し情緒を安定させ、すぐイライラせず、いろいろな人とちゃんと協力しながらみんなで活動することができると思います。これからも、たくさん経験を積み、成長して、委員長などの仕事もやってみたいです。

(C組 Nさん)

私はHR計画委員として準備期間を過ごして、計画性の大切さと協力することの大切さを改めて学びました。

周りに指示する側となったことで何をしてもらおうか、どのように動いてもらうかを考えるのがここまで大変だということを知りました。今まで、何かの委員になったことはありましたが、ここまで色々な仕事がある委員は初めてだったのでいい経験になりました。また、外装などギリギリまで終わらなかったものもありましたが、みんなと協力することで無事に完成できて良かったです。しかし、もっと準備の段取りを考えておくべきだったと感じました。その日に何をしてもらおうかは決めていたのですが、詳しく誰に何をしてもらおうか、終わったら何をしてもらおうか、までは決めていなかったのが指示を出すのが遅くなってしまいました。次に同じような役目になったときはその点を改善したいです。無事にみんなと彩羽祭を終えることができたのはすごく嬉しかったです。

(D組 Yさん)

この彩羽祭によって自分たちがいちから作り上げてきたものが完成する喜びと、達成感を学べたと思う。今まで、受験などで他の学校の文化祭を見てきた時はみんなで行き先がわいわい楽しく、マイペースな感じで文化祭準備をやっているのだと勝手に思っていたのだが、予想以上に忙しくかなり大変だった。だが、そのおかげでか、自分たちHR計画委員が学年のみんなを引っ張って行って作り上げた今回の文化祭は感激するほどに素敵なものとなったと思う。それは、勿論中1の出し物の完成度もそうだが、多分それ以上に当日こうして彩羽祭をみんながちゃんと行うことができ、そしてみんなが嬉しそうなきうきとした表情で彩羽祭を回ることが出来たことに感激を覚えたのだと思う。また、次回以降の彩羽祭では時間を意識して準備を進めていきたいと思った。これは、HR計画委員だから言えるが、最後の方は最終下校ギリギリまで残って準備を進めることが多くあり、来年以降は同好会の方での準備も忙しくなるので、自分たちに残された時間を意識してやっていきたいなと思った。

(E組 Kさん)

彩羽祭ではシフトの仕事と公演鑑賞がメインでした。

シフトは部活のものが多く、華道部にはたくさんの生徒や先生が来てくれました。自分の作品を写真に収めてくれたりしてくれている姿を見たときはとても嬉しく感じました。また、たくさん友達も来てくれて「がんばってね」などと声をかけてくれ

たのが嬉しかったです。一つ一つの作品や模造紙に書いてあることを、すべて読んでくださる方もいて誇らしかったです。初めて部活に入って、少人数ながらも外装や内装を協力して準備したことは忘れないと思います。学年では動画班で小道具を作りました。どうやったらうまく表現できるかを考えるのが難しくもあり楽しくもありました。また、外装や内装にはあまり関わることはできませんでしたが、どんどんできていく様子を見て、自分もシフトのときは役に立てるように頑張ろうと思いました。シフトで受付を担当しているときに、動画を見ている人の中に真剣に聞いてくれている方もいて達成感がありました。

公演では公募部門の Tiny♡TWICE とダンス部を見に行きました。ダンス部は一人ひとりが真剣にこの短い期間でダンスを覚えてきたのだと思うようなキレがとてもありきれいでした。

私はこの 2021 年度の彩羽祭はコロナなどの制約があったけれどもしっかり対策をして無事に開催できて良かったと思います。彩羽祭で学んだことは、より熱中したものはより達成感が得られるということです。また、人が笑顔になってくれると本当に自分までもがこんなに嬉しくなるということです。先輩や友達との交流も増え、仲を深めることができました。さらに自分から何かできることはないかと主体的に関わった方が自分の中でも印象に残る思い出になるし、周りからも感謝されると思います。今後は何か自分が周りのためにできることはないかと探して積極的に行動するということをしてみたいです。そして周りの変化にいち早く気づき困っている人などがいたら助けてあげられる、そんな人になりたいです。

2021 年度の彩羽祭は初めての文化祭として忘れられないものになったと思います。学んだことを今後の生活に活かすことまでが彩羽祭の役割であると思いました。

(F組 Iさん)

